

《137回大会運営規定》

【総務上の確認事項】

＜開会式＞

- ① 今大会は分散開催のため開会式を行いません。主催者あいさつを行います。
※会場責任者の指示のもと動いてください

＜閉会式＞

- ① 今大会は閉会式・表彰式を行います
Aブロック 優勝、準優勝チームは全員参加ください。3位はコート表彰となります。
Bブロック男子混合 優勝、準優勝、3位チームは全員参加ください。
Bブロック女子 優勝、準優勝チームは全員参加ください。3位表彰はありません。

＜感染対策＞

- ① 那覇市小学生バレーボール連盟の指定したチェックシートを各感染対策責任者の責任のもと会場責任者に提出をし、異常があった場合はすぐに報告をすること
- ② ガイドラインの規則に則って行動し、全チームで大会運営に協力すること
- ③ 体育館内の入場は、25名以内／チームとする。ただし、競技に関係ないチームは外で待機すること

＜注意事項＞

- ① 引率者・監督は、自チームを掌握し指導できる、責任ある指導者であること
- ② チーム編成は、基本単独チームであるが、合同チームも認める
但し、補強のための合同チームは認めない
- ③ 選手は、スポーツ障害保険に加入し保護者の同意を得たものであること
- ④ 大会中の事故に対する補償は、スポーツ安全協会の傷害保険をもって行い、主催者側は応急処置のみ行い、その後の責任は負わない事とする
- ⑤ ネームプレートは各チームで作成し持参すること
- ⑥ 各チームゴミはチームで持ち帰ること
- ⑦ 会場の片づけ及び清掃は原則として全チームで行う事とし、日程終了まで待機すること
但し、自チーム周辺の清掃を行い、かつ、会場責任者の了解を受けて解散してもよい
- ⑧ フロア外でのボールの使用は一切禁止とする
- ⑨ フロア内での応援は大会運営者の許可がない限り一切禁止とする
※各会場校の指定の場所で応援してください
- ⑩ 学校敷地内および周辺はすべて禁煙とする
- ⑪ 外履きシューズは各チームで管理し、玄関口での放置及び靴箱の使用は禁止とする
※各自にてシューズ入れ、または、ビニール袋を持参してください
- ⑫ 毎回、忘れ物が非常に多いので、持ち物管理をチームで徹底すること
- ⑬ 学校の備品等を壊さないように保護者は子どもたちを管理すること
万が一、破損させてしまった場合は速やかに会場責任者へ申し出ること
- ⑭ 大会参加にあたり、氏名、学校名、学年および対戦結果、記録、写真、動画等を主催者が発行する大会冊子、出版物、ホームページなどに掲載すること、また、マスコミへの公表に使用することをご了承ください

＜駐車場＞

- ① 各体育館の指定の駐車場に停め、それ以外の場所には一切停めないこと
※違反駐車によりレッカー移動された場合の責任は負わない
- ② 役員の指示に従い駐車してください

【競技上の確認事項】

＜競技規則＞

令和元年度(公財)日本バレーボール協会の定める小学生6人制競技規則による。
但し、別に定める小学生バレーボール競技規則を採用する。また、本大会特別規則を採用する

<競技方法>

- ① 女子・男子／混合ABブロックを開催する
- ② 予選リーグの後、決勝トーナメントを行う事とする
- ③ 試合はすべて3セットマッチとする。
各ブロック3セットマッチ21点のラリーポイント制を採用し、2セット先取とする。
3セット目は15点制とし、デュースの際は2点差がつくまで行う事とする
- ④ 各セットリードしているチームの得点が1点に達した時、吹笛により30秒間のテクニカルタイムを適用する
但し、3セット目は8点時(チェンジコート後)に適用する
ただし、戦略的な指導は禁止し、給水・汗を拭くなどの行為に限定する
水分補給はベンチ横で行う
- ⑤ 試合は追い込み方式で行い、連続試合の場合は、最大5分の休憩をとる
※2日目についての試合進行については、決められた時間にて実施する。
- ⑥ 試合が終了したチームは速やかにコートを開ける事
次の試合のチームは迅速に当該コートに集合し、以下の事を行う
・ラインナップシート得点掲示用チームプレートを審判員に提出
・3分間の打ち合い及び公式練習の準備を行う
※3分間打ち合いの場合はボールを使った練習を禁止し、速やかに打ち合いを行う(追い込み方式)
・3分間の打ち合いの後に試合を開始する(前の試合終了5分後に試合を開始する)
- ⑦ 女子、男子混合Aブロック:三角リーグ、四角リーグ共に2位まで決勝トーナメントに進出とする
女子Bブロック:各リーグ1位が決勝戦進出とする。
男子混合Bブロック:各リーグ1位は決勝戦、2位が3位決定戦に進出とする。
※但し、2敗したチームについては決勝トーナメントは進出は出来ないものとする。

<参加規程>

-チーム編成-

- ① チーム編成は、監督1名、コーチ1名、マネージャー1名、選手12名以内とする
但し、監督は必ず成人である事とする
- ② 単独チームで他からの補強は認めない。

-エントリー変更-

参加申込書に記載された選手の変更(背番号の変更・誤字の訂正)に関しては
初日の8:30までに、チームスタッフは予選・決勝トーナメント1～2日目それぞれ当日8:30までに
エントリーシートに掲載されたエントリー変更届けにその旨記入し、
各会場の競技委員長に提出し、承認を得ること。それ以降の変更は認められない。

-服装-

- ① 単独チームの選手のユニフォームは同一の物を着用し、背番号は1～99番とするが競技運営上1～12番が望ましい
合同チームは背番号が同じにならないように、かつ、分かりやすいように各チームのユニフォームを着用して下さい
ユニフォームの背番号等の色は、ルールに則って地の色と対象的な色を使用し、誰もが見え易いものにする事
※ビブスの着用も可とする
※ユニフォームの同一とは、ユニフォーム及びソックスを同じにする事を指す
- ② 単独チームの監督・コーチ・マネージャーの服装は、統一された物を着用する事とし、シューズを履くこと
合同チームについては、統一する必要はない。
但し、マネージャーが児童の場合はこれの限りではない
※スタッフの服装の統一とは、襟付きのシャツ長ズボン・半ズボン同系色に揃えることをさす。
- ③ 監督・コーチ・マネージャー章は、必ず左胸部に着用すること

-大会使用球-

- ① 公益財団法人日本バレーボール協会が公認する人工皮革軽量4号球カラーボールを使用する

「ミカサボール(MVA500)・モルテンボール(V4M5000-L)」(円周62～64cm重量200～220g)

※ ボールの内圧については6人制競技規則に準ずる。

② 本大会は男子混合Bブロック:ミカサ/女子Bブロック:モルテン

-予選グループ戦における順位決定方法

- ① 勝率(勝数の多いチーム)
- ② セット率(全試合の取得したセット総数/全試合の喪失したセット総数)
- ③ ポイント率(全試合の総得点/全試合の総失点)
- ④ ③-④が同率の場合は、チームの代表者によるクジで順位を決定する
- ⑤ 但し、四角リーグの場合においては、別途組み合わせ表にて明記あり。

-各試合会場におけるコートでの練習について

- ① 各会場ともコートの準備ができ、競技委員からのアナウンスがあるまでフロアに入ることはできない
- ② 第1試合開始30分前から、すべてのチームに5分間の公式練習時間を与える
但し、各会場競技委員長の指示に従う事
- ③ 前規定の時間以後は、次のチームのみコート内での練習ができる
但し、隣のコートで試合中の場合はサーブ・スパイク・ノック等は禁止とし、パスまでの練習とする
- ④ 公式練習は3分間の打ち合いのみとする。但し、全ブロック決勝戦のみプロトコールを行う
- ⑤ フロア以外でのボールを使った練習は、建物内外にかかわらず絶対禁止とする
また、屋外でのアップの際は外履き用の靴に履き替えること

-審判員-

- ① 大会1日目の主審・副審はチームスタッフから出す事とする
- ② 大会2日目は日本バレーボール協会公認審判員の公認審判員が審判委員長の指示のもと配置される
- ③ ラインズマン・点示係・記録係は各チームから出すこと

-その他-

- ① ベンチには、競技上必要な飲料水・救急用具以外の物品を持ち込まない。また、飲料水は床にこぼさないよう注意する!
※クーラーボックスは禁止とする
- ② 応援団の応援旗及び横断幕は試合のあるチームのみが掲示し、その際にプレーに支障のないように配慮する
試合終了時には迅速に撤去し、次のチームに場所を譲る事
応援団の応援用具は大きな音の出る鳴り物(太鼓・ベル・ペットボトル等)は禁止とする
※審判のホイッスルの邪魔にならないように配慮する事
- ③ 審判やラインジャッジへの批判・暴言・威嚇等の行為は厳に慎む事
- ④ 選手への体罰・暴言・威嚇等の行為は、絶対禁止とする
※上記事項を各チームの指導者は十分考慮すると同時に、各チームの応援団(父母会)への指導を徹底する事
- ⑤ 各チームは、ネームプレートを持参する事
但し、2日目に出場するチームは得点掲示用のネームプレートを枚用意する事
- ⑥ 各チームは、ボール拭き用のタオルを持参する事

【審判上の確認事項】

<ルール取り扱いについて>

- ① 児童の善い行いに対しては、フェアプレー精神の育成のため積極的にグリーンカードを出してください
- ② モップ、チームの荷物等は安全のためにベンチ裏、またはイスの下に置く。スペースが無ければベンチ横でもよい
- ③ 靴ひもを結ぶ行為は安全を確保するためなので、特に許可を与えるということではないが結び直しをさせる
但し、執拗に繰り返す場合は遅延行為になる
- ④ 監督はベンチでは記録席(副審側)に最も近いところに位置し、指定されたフリーゾーン内ならば一時的にベンチを離れてコート上の選手に指示を与えてもよい(過度な応援やパフォーマンスは許可されない)
但し、サーブ許可の吹笛後は速やかにベンチに着席すること(ラリー中は座っておくこと)
- ⑤ テクニカルタイムアウト(給水の為のタイムアウト)時は、ベンチ横で給水をさせる

但し、戦術的な指導は禁止し、給水、汗を拭くなどの行為に限定する

- ⑥ 1セットにつき12回までの選手交代が認められる
- ⑦ ラリー中は、交代競技者はベンチに着席しているか、ウォームアップエリアに位置していること
- ⑧ 審判に対する質問はゲームキャプテンのみに認められる権利である
要求する権利のない者が要求した時など、タイム・アウト及び競技者交代時の不当な要求は拒否される
またプレーに影響を及ぼしたり、同一試合中に同一チームの競技参加者が不当な要求を繰り返したりしたときは
そのチームを試合の遅延として処置する
- ⑨ ユニフォームからはみ出したアンダーウェアは禁止する
- ⑩ 反スポーツマン的行為や言動に対しては厳正に処理する。(退場・失格)
- ⑪ 髪の毛がネットに触れた場合、からみついたり等しない限り、反則としない
- ⑫ 公式練習はサブ権を得たチームから行う。公式にエントリーされたチーム構成員以外は公式練習に参加できない
- ⑬ デッド後のボールは速やかにサービングチームに送る事
- ⑭ トスは副審側で試合開始前に行う
但し、トスにはキャプテンが立ち会い、キャプテンマークのついたユニフォームを着用する事

<コートワイピングについて>

コート内の選手はハンドタオルを身につけ、コートワイピングは選手自身がタオルで行うことを原則とする
タイムアウト及びセット間はベンチの者がモップを使用して拭いてもよい
但し、それ以外のモップの使用は、審判の指示に従う事

<審判について>

予選リーグの審判は、大会冊子の審判割当を参照ください
※試合後、審判は、次の試合のトス・打ち合いを行う事

<その他>

- ① 主審は試合の最終決定者である
但し、主審は判定や取扱いの疑惑等について、主審の判断でコントローラー /副審判長/審判長の意見を聞くことを許可する
- ② 主副審はサービスオーダーの確認に注意を払う
- ③ 審判を行う際は審判服を着用しなければならない
- ④ 公認審判資格を持つ方は、二日目以降のご協力をお願い致します

お願い

小連役員も、その多くがそれぞれのチームを抱えながら頑張っております。
ぜひ、各チームのスタッフは大会運営のご協力をお願いします